

NPO法人 相馬フォローチーム NEWS*LETTER 1・2月号

2017年度
vol.07

発行日 平成30年2月1日

相馬市では先月末に大雪が降り、見慣れた街並みがあったという間に一面の銀世界に様変わりしました。暦の上では春とはいえ、まだまだ寒さが続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さてNL 1・2月号は、基礎学力向上に向けた各学校の取り組み、高校入試対策の面接練習の様子、磯部幼稚園・小学校の白波祭、そしてスタッフのコラムをお伝えします。

基礎学力向上に向けた各学校の取り組み

昨年12月、福島県教育委員会は家庭学習の質を向上させることを目的として、「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」を作成しました。市内の小中学校にも説明およびリーフレット資料の配布が行われています。各学校での取り組みの様子について、一部ご紹介します。

中村第二中学校

- * 定期テスト前の試験勉強に活かすため、生徒たちが各教科の要点をまとめた資料を作成し、自主学習を促している。
- * お手本になるような自主学習ノートをコピーして配布したり、取り組み状況をグラフ化にしたりして意欲向上にもつなげている。



磯部中学校

- * 定期テスト前に試験勉強の学習計画を立て、試験終了後に振り返り、反省する。それらは記録に残し、次に生かせるようにする。
- * 効率よく学習ができるように、定期テスト前に試験対策問題を作成。それを配布して自主学習に活用している。



中村第二小学校

- * 各学年ごとに自主学習ノートを作成。2月には各学年2名ずつ、内容が優秀な子どもの自習学習ノートを昇降口に展示する予定。
- * 算数を中心に行っている。子どもたちが興味を持つような学習提示法を工夫して授業を行っている。

磯部小学校

- * タブレット端末を週3回自宅に持ち帰り、算数のクラウド履歴型ドリルを活用。学習時間の計画を立て、家庭学習を促している。
- * 子どもたちひとりひとりの語彙力や表現力を身につけるため、読書に力を入れている。



今は多くの子どもたちがテレビやゲーム、スマホなどと一緒に生活しています。そのような環境の中で、いかに家庭学習に取り組むかが、子どもたちの課題となっています。各学校とも、家庭学習においては、保護者の協力が不可欠と強く感じているようです。これからの未来を担う子どもたちの基礎的な学力向上に対し、大人である私たちはどう協力していくのが良いのでしょうか。自ら学習を振り返り、繰り返し学ぶ「自己マネジメント力」強化に向けて、私たち大人も意識的に協力していきたいですね。

高校入試対策 面接練習が始まりました！

1月に入り、中村第二中学校と磯部中学校では高校入試対策として面接練習が始まりました。総合的な学習の時間や放課後に先生方と面接の練習を行っています。実際に練習を終えた生徒に話を聞いてみると、「緊張はしなかったけれど、聞かれたことにどう答えたらいいかわからなかった」という声が多く聞かれました。先生方からのアドバイスをもとに、ぜひ本番でも落ち着いて試験に臨んでほしいと思います。



磯部幼稚園・小学校 白波祭

11月11日（土）に磯部幼稚園・小学校の白波祭が開催されました。これまで総合的な学習の時間や国語科・社会科などで学んだことを、上手に劇やクイズに取り入れて発表している様子を見て、思わず惹きこまれてしまいました。緊張した面持ちの子どもたちも、それを吹き飛ばすかのように大きな声で発表しており、発表終了後は満足げな表情を見ることもできました。



白波祭の最終プログラムは、磯部幼稚園・小学校全体合奏。子どもたちの息の合った鼓笛パレードが披露され、会場はたくさんの笑顔と温かい声援に包まれました。学校と家庭、地域がひとつになり、子どもたちの学びを支えていく。そういった磯部小学校ならではの学びの様子は、この白波祭で十分に伝えることができたのではないかと思います。みんな、頑張ったね！

スタッフのコラム④「強さの秘訣!？」



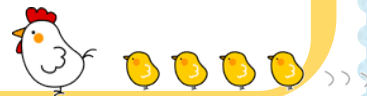
「知らない土地に一人で来て“強い”ね」と声をかけていただくことがあります。自分が強い人間だとは思っていないのですが、そのことについて少し考えてみました。

—みなさんの持っている“強さ”とは何ですか?—

私は帰る場所・故郷があるということが自分の強さの秘訣の一つだと感じます。言い換えれば、〈居場所感がある〉ということ。居場所がある感覚を持つということ、それが自分自身を安心させてくれています。失敗をしてくじけても、苦しくつらいことが身に起きても、遠く離れていても帰れる場所があるということは、自分に安心を与え、自分を強くしてくれていると感じています。

さだまさしさんが作詞作曲した“避難所の少年”という歌の中に、「帰れない場所を故郷と呼び何も無い場所を我が家と呼ぶ」という歌詞がありました。帰る場所を失った場合はどうでしょうか。震災の被害によって帰る場所を失ってしまった人たちが弱いとは決して思いません。避難をして元の場所に戻ってくる人、新しい場所に移り住み居場所をつくる人…さまざまな境遇を抱えてそれぞれの暮らしの中で生きています。震災から7年目を迎えます。変わりゆく故郷の姿に何を思うのでしょうか。歌の中には、「人は弱く人は強い」とも綴られています。

簡単なことではありませんが、もしかしたら、新しい居場所をつくることも未来をつくることなんだ…と。長崎から相馬市へ戻る道中、飛行機の中で沿岸部の復興の状況をみながらふと思ったことでした。（城戸）



訪問活動日

相馬フォロアチームでは、カウンセラーが児童生徒の心のケア活動、教職員や保護者への相談活動を行っております。

場所	12・1月の訪問日等
中村二小	12月：4,5,6,11,12,13,18,19,20日 1月：9,10,15,16,22,23,24,29,30,31日 (月1回の世界の医療団派遣を含む)
中村二中	12月：5,7,12,14,19,21日 1月：9,11,16,18,23,25,30日
磯部小	12月：なし 1月：10,17,24,31日
磯部中	12月：7,14,21日 1月：18,25日

内容	12・1月の件数
アート・メゾンでの相談等	12月：27件 1月：30件
その他(関係機関との連携、訪問派遣等)	12月：33件 1月：18件

お問い合わせ

お子さまのことで、ご心配なことはありませんか？

相談室にて、無料の相談を承っております。下記までお気軽にご連絡ください。



〒976-0042
福島県相馬市中村2丁目2-15
LVMH子どもアート・メゾン
Tel: 0244-35-6200
Fax: 0244-35-6215
Mail: sft@soma-ft.org
HP: <http://www.soma-ft.org/>

